

愛知県立農業大学校における新型コロナウイルスの感染予防策

1 職員・学生・研修生共通

政府の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議が示した可能な限り避けてほしい条件（人の密集、換気の悪い密閉空間、近い距離での会話環境）に配慮し、以下の対策を徹底する。

- (1) 手洗い・手指の消毒をこまめに行う。
- (2) 毎朝、体温計測を行い、発熱や風邪の症状がみられた場合、職員・研修生は出勤（登校）しない。また、学生は速やかに保護者に連絡し、帰宅させる。
- (3) 講義等は、可能な範囲で席を離して座る。
- (4) 外出時や屋内でも会話をする時は、マスクを着用する。
- (5) 施設の入口にアルコール消毒液を設置し、施設利用者は出入りの際に、手の消毒を行う。
- (6) 教室や学生寮の定期的な換気を徹底する。
- (7) 個人で外出時も上記の可能な限り避けてほしい条件に注意し、感染者が多い地域への不要不急な外出は控える。

* **新型コロナウイルスに感染または、濃厚接触者となった場合、速やかに農業大学校へ連絡すること（☎0564-51-1601）。**

2 学生の寮生活における注意点

- (1) 起床したら検温を行い、各自が8時30分までに検温記録簿に記帳する。
発熱または風邪の症状がある者は、舎監事務員に報告し、直ちに家族に連絡をとり帰宅させる。また、報告を受けた舎監事務員は、学務科に連絡する。
- (2) 他人の物にはできる限り触れないようにする。また、共有部分の電灯スイッチや洗面の水栓などに触れた時は、適時消毒して清潔に保つ。
- (3) 朝晩、複数回にわたり部屋の換気を行う。なお、換気の際には窓だけではなく、部屋のドアも少し開けて空気の流れを作るようにする。
- (4) 寮内の移動時、また複数人で談話スペースを利用する場合には、マスクの着用を原則とする。
- (5) 食堂での入場・配膳・下膳の際は、マスクを着用するとともに、入場の際は必ず手洗いと消毒を行う。
また、座席は対面で座らず、食事時の頻繁な会話や大声での会話を控える。
- (6) 風呂場では、換気扇に加え、可能な場合は窓の開放を行い、換気を十分に行う。
また、できるだけ時間差をつくり混雑を避けるとともに、他人のものを共有で使用しない。
- (7) トイレにおいて用を足した後は、手洗いを必ず実施し、消毒を行う。

* **学校休業日には、当番以外の学生は帰宅すること。**